

2013●図書館展示 2-3 月

壊れる資料 壊される資料 その保存と修理

図書館の資料は繰り返しの利用や時間の経過によって、傷んでいくのは避けられないことです。自然に壊れる資料、不注意で壊される資料。
図書館ではこれらの資料に対して、どのように対応しているか。その保存と修理の実例をご覧ください。



壊れる、壊されるが何度も繰り返された楽譜

企画●染谷周子(国立音楽大学附属図書館総務部)

展示期間●2013年2月5日～3月18日

展示場所●図書館ブラウジングルーム

壊れる資料

《酸性紙の劣化》

酸性紙とは製紙の工程でにじみ止め定着剤として硫酸アルミニウムを使用した紙。紙自体に含まれる酸によって紙の繊維が食い荒らされ、数十年でボロボロになってしまい、紙が茶褐色に変色する。近代の紙資料の多くが酸性紙を使っているため、図書館に所蔵されている資料への対策が課題である。日本では1980年代後半から出版物の本文用紙の中性紙化が進んでいる。

《針金の腐食》

針金に錆びが生じて、紙を腐食していく。そのままにしておくと、紙が無くなってしまう。1880年頃、ドイツで「ワイヤー・ソーイング」という製本の機械が発明され、針金を使った製本が行われた。図書館にもこの機械で製本された楽譜や本がある。徐々に針金が錆びて本が壊れていく。

《テープ修理の被害》

図書館ではいろんなテープをたくさん使って修理をしてきた。しかし、このテープが資料を徐々に破損し、大変なことになってきた。テープの粘着剤が溶けて、ページがくっつく。テープの端の部分の紙が切れる。テープを貼ったところが徐々に固くなるなど。永久保存の資料には良いことはいずれです。

壊れる資料・壊される資料の保存と修理

壊れる資料、壊される資料に対して図書館では、修理できるもの、修理は不可能なものを選択して、その資料にあった保存の方法を考えています。

修理の材料

資料に悪影響を与えない、化学的に安定した材料を使うことが重要。原形を尊重し、元に戻すことができる修理が大切です。

和紙 ●楮（こうぞ）を原料とした楮紙

糊 ●生麩糊 小麦のでんぷんを煮て作る糊

糸 ●麻糸

針金が腐食しページが外れる。針金の穴が大きくなる

腐食した針金は早めに取り除き、麻糸で綴じる。

針金の跡



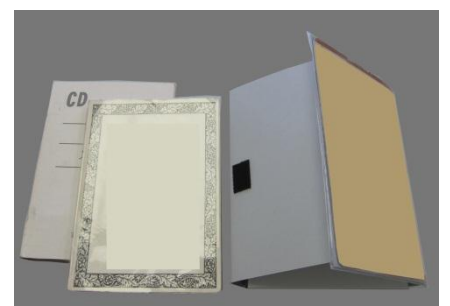
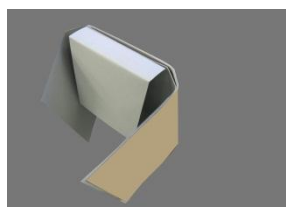
糸綴じ



箱が壊れて、CDと本が入らない。箱にはイラストや情報があり生かしたい

中性紙で保存箱を作成して、CDと本を入れる。箱のデザインを生かすためにコリブリでカバーをする。

*コリブリ：ポリエチレンのカバー。資料のサイズに自由にカットできる。



背表紙がはずれてしまった。表紙も生かして治したい

表紙と同じ色に近いクロスを使って表紙、背表紙、裏表紙をつなぐ。元の背表紙は生かして使う。



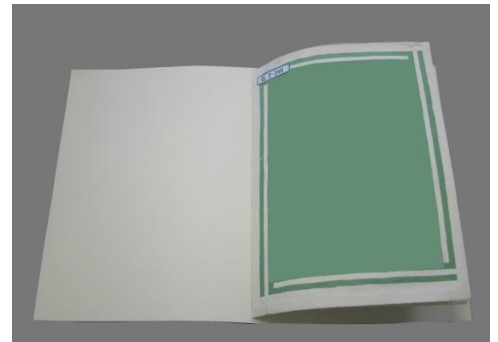
*クロス（布）：本の表紙の素材や色のあったものを使用する。



薄い表紙で表紙の裏が染譜、裏表紙も染譜

薄い表紙を保護するために、厚めの中性紙を表紙にする。針金があれば取り除いて、糸綴じをする。表紙はコリブリでカバーする。

*中性紙：純粋な化学パルプを原料に使用。添加されているアルカリ緩衝剤が酸性物質を中和してくれる。

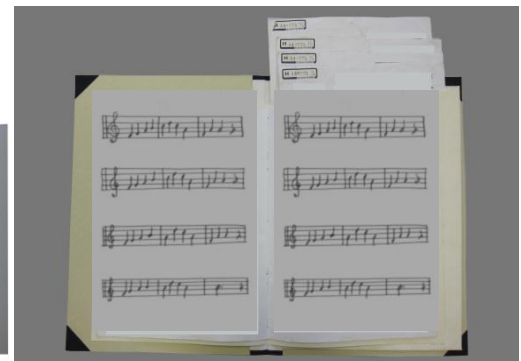


薄い表紙の染譜でパート譜がある

厚めの中性紙を表紙にして、パンフレット製本にする。中性紙封筒を裏表紙に貼り付けて、ポケットフォルダーをつくり、その中にパート譜を入れる。



*パンフレット製本：ボール紙にパンフレットを綴じこむ形で一体化する。



背表紙が少し外れてきた。早めに治したい

背表紙と同じ色の和紙を喰い裂きにして、外れた部分に貼る。早めの修理が大修理にならない。



*喰い裂き：和紙を水に濡らした筆で、水を引き手でちぎる。和紙独特の繊維を利用する。



折られた大型の楽譜

紙は一度折り目を付けたら元通りにはならない。折られないように中性紙で保存用のフォルダーを作る。



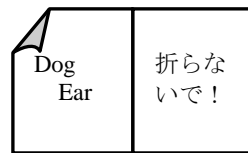
壊される資料

楽譜・本の取り扱いマナー

書き込みをしないで
ください。



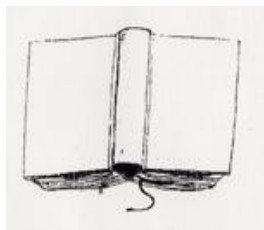
ページの角を折らないで
ください。



ポストイット、しおり、
クリップなどをはさんだまま
おかないでください。



楽譜や本は、開いたまま
ふせないでください。



無理に押しつけて
コピーをしないでください。



飲食をしながら
本を読んだり CD や DVD を
視聴したりしないでください。



資料はかばんやビニール袋に
入れて保護してください。



●参考資料:『防く技術・治す技術 紙資料保存マニュアル』日本図書館協会 2005 <請求記号・J104-521>

展示パンフレットは図書館ホームページにカラーで公開しています。

<http://www.lib.kunitachi.ac.jp/tenji/tenji.htm>